

愛する人、愛する地域を守るために



地域を守る 若者たちのチカラ

消防団で唯一、大学生が入団している特設第1分団。団員として活躍する若者2人にお話を聞きました。

あやべ ゆうと
綾部 湧友 さん (20歳・円中)



将来のステップアップにも

私の将来の夢は消防士です。夢をかなえるステップアップのために、昨年5月に志願して消防団に入団しました。放水等の実技的なことから、訓練礼式等の社会的なマナーまで、将来に生かすことができる経験をしています。大学生のため、授業やアルバイトがありますが、消防団の平時の活動は月2回なので、無理なく参加できています。同世代の仲間が増えたら嬉しいです。子どもの頃、「かっこいい!」と憧れていた消防団員になれた今、小さい子どもたちが、あの頃の自分と同じように私を見ていると思うと、身が引き締まる思いです。

INTERVIEW

小田原市消防本部
足柄消防署
たかはし たかひろ
高橋 貴博 消防署長

地域防災の要

消防団と消防署は、地域の安全・安心を守るための車の両輪のような関係だと思っています。消防署の職員も地域のことを把握していますが、より地域に精通している消防団員の皆さんがいてくれるからこそ、災害時に消防職員が迅速かつ正確に活動できています。消防団は、地域防災の要であり、私たちにとっても非常に心強い存在です。

必要不可欠な存在の消防団
日本は、地震や台風などに加えて、近年ではゲリラ豪雨などが頻発する「災害大国」です。甚大な被害をもたらした東日本大震災や熊本地震では、自衛隊や消防職員の活躍に加え、地域の実情をよく知っている消防団が救援・救助活動に大きな力を発揮し、多くの命を救ったと言われています。いつ起こるか分からない災害や火災の被害を最小限にとどめるためにも、消防団はなくてはならない存在です。

私たちにできること
地域に必要不可欠な消防団。しかし、消防団員の減少や高齢化が課題となっています。もしかしたら将来、私たちが頼りにしてきた消防団の存在は、当たり前ではなくなってしまうかもしれません。安全で安心な暮らしを次世代につないでいくためにも、まず、私たちが消防団について理解すること、そして、地域の防災を消防団に任せきりにせず、協力していくことが大切ではないでしょうか。

いしやま たつや
石山 達也 さん (22歳・下延沢)

町のことを知るきっかけに

副団長に声をかけられ、今年の4月に入団しました。将来の夢が消防士ということもあり、二つ返事で入団を決めました。点検や巡回で町の知らなかった道や場所を通ることがあり、入団前と比べて、町の地理的なことに詳しくなりました。また、それだけではなく、他の団員と知り合うことで、地域であいさつを交わせる仲間が増え、地域や人をより深く知るきっかけにもなりました。現在は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、例年実施している行事や訓練ができなくて残念ですが、「いざ」という時に地域を守るように、日々、機材の点検や巡回をしっかりと行っていきたいと思っています!



消防団員募集中!

地域の安全・安心を保つためには、消防団員の皆さんが不可欠です。「愛する人、地域を守りたい」「子どもの頃に憧れていた消防車に乗りたい」…どんな動機でも構いません。皆さんの入団をお待ちしています!

- ▶ 入団希望・見学希望の方は町防災安全課へご連絡ください。
- ☎84-0326 (8:30~17:15(土日・祝日除く))
- ▶ 開成町消防団に関する詳細はコチラ。

開成町消防団 検索



開成町消防団HP